

令和4年度  
社会福祉法人三和会  
そよ風の里“ほたる”  
事業実施報告書

特別養護老人ホーム そよ風の里“ほたる”  
(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

ショートステイ そよ風の里“ほたる”  
(指定短期入所者生活介護・指定介護予防短期入所者生活介護)

デイサービスセンター そよ風の里“ほたる”  
(指定通所介護)

居宅介護支援事業所 そよ風の里“ほたる”  
(指定居宅介護支援事業所)

有料老人ホーム そよ風一番館

1. 社会福祉法人三和会 事業報告

2. 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

3. 通所介護事業所事業報告

4. 居宅介護支援事業所事業報告

5. 有料老人ホームそよ風一番館事業報告

# 社会福祉法人三和会 令和4年度 事業報告書

## 1 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

### (1) 理事会の開催

令和4年6月2日	第1号議案	令和3年度事業報告(案)について
	第2号議案	令和3年度決算関係書類並びに財産目録の承認について 会計監査報告
	第3号議案	定款変更案について
	第4号議案	理事長職務執行報告
	第5号議案	定時評議員会の開催方法、議題について
	第6号議案	その他 報告事項
令和4年9月28日	第1号議案	理事長職務執行報告
	第2号議案	その他 報告事項
令和4年12月20日	第1号議案	経理規定の変更案について
	第2号議案	理事長専決事項規則の変更案について
	第3号議案	有料老人ホームそよ風一番館の今後の在り方について
	第4号議案	その他 報告事項
令和5年3月30日	第1号議案	令和4年度 補正予算案について
	第2号議案	令和5年度 補正予算案について
	第3号議案	令和5年度 事業計画書について
	第4号議案	令和5年度 業務委託契約について
	第5号議案	その他 報告事項

### (2) 評議員会の開催

令和4年6月20日	第1号議案	令和3年度決算関係書類並びに財産目録の承認について
	第2号議案	社会福祉法人充実残高がないことの承認
	第3号議案	定款変更案について

### (3) 監事監査の開催

令和4年5月31日	会計監査
-----------	------

## 2 職員配置状況(単位:名)

事業所名	年度当初人員	年度途中減少	年度途中増加	年度末人員
地域密着型老人福祉施設	30(兼13)	3(兼1)	6(兼2)	33(兼14)
短期入所生活介護事業所	15(兼13)	1(兼1)	1(兼1)	15(兼13)
通所介護事業所	8	2	2	8

居宅介護支援事業所	1	0	0	1
有料老人ホーム	5 (兼1)	0	1	6 (兼1)
厨房	6	1	1	6
事務部	2	1	1	2
その他	4	1	1	4
計	57	9	13	60

(実人数)

### 3 有給取得状況 (単位：日)

全体平均：

### 4 令和4年度について

#### ① 重点目標についての評価

- ・新型コロナの感染も確認されたが、最小限度に感染を抑えることができた。また利用者・家族と密に情報交換し療養、回復となった。新型コロナの取り扱いの変化に伴い、感染対策を行った上での家族との交流や職員の勤務についても随時変更を行いその都度家族へも対応について周知した。
- ・特定技能・技能実習生の受け入れを行い、受け入れ側の心得や教育など改めて見直すことができた。また3名の姿勢が刺激となり、職員での気づきや気遣いなど良い転機となった。

#### ② 具体的取組の成果

- ・関係機関との情報交換・連携について

1人の方のケアを行うにあたって、関連機関での情報交換を密に行い変化に伴いサービス内容も変更できた。また町での会議など積極的に参加し、情報交換を行い山都町の現状を知り事業所の課題を訴えることができた。また情報交換を行うことにより、山都町の課題や事業所に求められるものの把握を行い需要に合わせ事業所の方針について検討することができている。

## 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業実施状況報告

### I. 入居者の現状報告

#### 1. 入所状況

	定員	令和5年3月31日現在	
		現在員	待機者
特別養護老人ホーム	29人	29人	10人

#### 2. 介護度別入所者内訳

令和5年3月31日現在

介護度区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	1	0	7	12	9	29

現在の平均の介護度・・・ 3.9

#### 3. 入居者状況

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

	65歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳～ 89歳	90歳～ 99歳	100歳～	計	平均年齢
男	0	0	0	6	0	6	94.2
女	0	0	7	13	3	23	92.9
計	0	0	7	19	3	29	93.1

(2) 入居・退居状況（単位：人）

	月	月途中入居者					月途中退居者						
		月初日 入居数	在宅	その他	病院	計	社会 復帰	家庭 復帰	入院	転出	死亡	その他 他施設	計
2021年度	4	28	2			2					1		1
	5	29	1			1					1		1
	6	29											
	7	29											
	8	29											
	9	29											
	10	29											
	11	29	1			1					2		2
	12	28	1			1							
	1	29									1		1
	2	28	3			3					2		2
	3	29	1			1					1		1
		合計	345	9			9					8	

#### 4. 退居者の状況

家庭復帰	入院による退居	他の施設に転出	死亡	計
0人	0人	0人	8人	8人

## 5. 利用実績（延べ人数）・稼働率（％）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
810	876	847	889	865	862	839	796	868	871	762	873	10,158
93	97	97	99	96	99	93	91	97	97	94	97	96

## II. 入居者処遇実施状況報告

### 1. 日常生活状況（介護）（令和5年3月31日現在）

状態	食事			排泄			入浴		
	全介助	一部介助	自立	全介助	一部介助	自立	全介助	一部介助	自立
実数	9	5	15	16	12	1	23	6	0
比率	31%	17%	52%	55%	41%	3%	79%	21%	0

### 2. 入院状況（入院者数、延べ日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	2	3	3	2	1	3	4	1	1	0	2	25
28	13	23	9	34	8	60	29	31	23	0	18	276

\* 救急車要請・・・ 0 回

### 3. 行 事

#### (1) 地域との交流

月 日	行 事 名
なし	なし

#### (2) 施設内行事

月 日	行 事 名
4月8日	桜見学
4月27日	還暦祝い
5月5日	鯉のぼり廻り（全ユニット）
5月24日	団子作り（花みずき）
7月13日	夏祭り（花みずき）
8月29日	お祭り（あざみ）
9月19日	ホットケーキ作り（菜の花）
9月26日	うどん作り（れんげ）
10月17日	ミニ運動会（あざみ）
10月25日	紅葉見学（花みずき）
11月16日	いきなり団子作り（花みずき）
12月17日	いきなり団子作り（れんげ）
12月20日	クリスマス会（れんげ・あざみ）
12月23日	ケーキ作り
3月30日	花見見学（あざみ）

#### (3) 外 出

月 日	ユニット名	外出先	外出者
2月16日	れんげ	尾野尻	入居者2名

3月3日	あざみ	いちご狩り	入居者8名
3月8日	あざみ	いちご狩り	(2班に分け外出)
3月14日	れんげ	自宅	入居者1名
3月15日	あざみ	自宅	入居者1名
3月30日	れんげ	自宅	入居者1名

その他、買い物、食事、自宅（仏様お参り）、携帯電話修理、理髪店など個別に外出支援を実施。

(4) 外泊・外出（家族支援）

外泊者	0名	0回	外出者	0名	0回
-----	----	----	-----	----	----

(5) 面会（人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38	36	14	9	オンライン		28	37	6	10	35	24	237

①令和4年度の日常生活援助の取組についての評価

感染症の影響もあり、外出行事や施設内での合同で行う行事等控え、面会も中止や制限下でのものとあり利用者のQOLはとて低くなっていたが、後半感染症の流行具合を見ながら外出や施設内の行事を増やしていくことができた。

(6) 余暇活動

習字	歌声ひろば	ゲーム	カレンダー作り	朝の体操
7回	41回	116回	12回	234回

(7) 理美容利用者（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カット	16	14	13	14	15	13	11	14	13	14	13	13	163

Ⅲ 委員会・会議・研修

1. 委員会（年間開催回数）

防火管理委員会	安全衛生管理委員会	感染症・じょくそう予防委員会
2回	12回	12回
教育・接遇委員会	給食委員会	事故対策委員会
4回	6回	4回
身体拘束・虐待防止委員会		
6回		

2. 会議（年間開催回数）

ユニット会議	リーダー会議	管理者会議	カンファレンス	運営推進会議	家族会
39回	11回	12回	60回	6回	0回

### 3. 職員研修

#### (1) 施設外研修

研修内容	回数	参加人数
初任者研修	2回	2人
リーダー研修	1回	1人
介護職種の技能実習生指導員講習	1回	1人
高齢者施設における感染防止対策研修	1回	2人
アンガーマネジメント研修	1回	1名
ユニットリーダー研修	1回	1名

#### (3) 施設内研修

月 日	内 容	参加人員
4月	経営理念について、コロナ渦での職員とのコミュニケーション「自分を知り、知ってもらおう」	全職員
5月	感染予防について	レポート提出式
6月	ハラスメントについて	//
7月	水分補給について	//
8月	事故防止について	//
9月	身体拘束・虐待防止について	//
10月	接遇について	//
11月	感染予防について	//
12月	身体拘束・虐待防止について	//
1月	事故防止について	//
2月	認知症について	//
3月	防災について（正確な情報を得る方法）	//

### 4. 令和4年度の重点目標についての評価

#### ① 職員について

9月より技能実習生2名、特定技能1名を受け入れているが、本人たちのやる気もあり大事なスタッフの一員となっている。しかし、急な怪我などで仕事ができない状態になるスタッフもおり、人員不足は変わらず続いている。

#### ② 他職種との連携について

感染症対策にてカンファレンスが実施できない時もあり、連携不足になることも多々見られた。

#### ③ 稼働率の安定について

入居者の慢性的な疾患にて長期入院となることや、繰り返しの入院がみられ稼働率が下がることがあった。早期に見極め方向性を作っていくのも重要と思えた。

#### ④ 経費削減について

経費節減をことあるごとに呼びかけ、光熱費の一覧表などをスタッフにも見てもらうようにしているが、電気量等の高騰等あり成果が見えにくい、今後も強く呼びかけていきたい。

## IV 機能訓練



## 1. 実施状況

区分	実施回数	参加人数	1日(回)当たり平均
集団活動(朝の体操)	229回	3788人	16.5人

ホットパック、起立練習、歩行練習、四肢の屈伸運動、手指の屈伸運動、足背伸展背屈運動

### ① 令和4年度の具体的取組についての評価

個別機能訓練を（毎日）（月・水・金）（火・木）と実行したがその方に合う個別機能訓練として、3ヶ月、半年と早めに見直しが必要となられる場合もある。状態の変化見られる方と、機能の維持ができている方など個々で異なる。今後も個別に合わせ、早めの見直しを心掛け実行していく必要があると実感した。

## V 看護業務

### 1. 診察状況

#### (1) 施設内診療（年度総数）

診察科目	内科	歯科
延人数	374人	9人

#### (2) 通院診療（年度総数）

診療科目	内科	整形外科	耳鼻科	眼科	歯科	精神科	皮膚科	合計
延人数	18人	1人	0人	2人	2人	0人	6人	29人

#### (3) 入居者検診

受診者数	26人	令和4年6月実施
------	-----	----------

## V 給食

### 1. 食事形態の喫食状況（令和5年3月31日 現在29人）

食事形態	常食	刻み食	超刻み食	ミキサー	経管栄養
食事数	10人	7人	5人	4人	3人

### 2. 栄養量（令和5年3月31日現在）

区分/栄養量	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム
給与栄養量	1,400 kcal	50g	20～30%	600mg
栄養摂取量	1,416 kcal	64.1g	24.3%	798mg

### 3. 非常食の備蓄状況

種 類	食 数	種 類	食 数
白米	5.3kg.	筑前煮（レトルト）	60食
味噌汁	180食	かぼちゃ煮（レトルト）	60食
いわしの煮付け（レトルト）	60食	切干大根の煮物（レトルト）	60食
ハンバーグ（レトルト）	60食	フルーツ缶	120食
ちゃんぽん	60食	水（2ℓ）	50本

## VI 防災対策

### （1）防火管理委員会の開催

5月	6月の日中避難訓練について
10月	11月の夜間避難訓練について

### （2）防火訓練の開催

6月28日	総合訓練、非常食の内容確認、火災報知器の確認方法
11月29日	夜間避難訓練、停電の体験

## 短期入所生活介護事業実施状況報告書

### 1. 利用状況

	短期入所生活介護事業		送迎サー ビス(回)	1日平均 利用人数	稼働率(%)
	実利用人数(名)	延利用日数(日)			
4月	19	263	52	8.8	88
5月	19	257	54	8.3	83
6月	15	201	46	6.8	68
7月	15	216	49	7	70
8月	21	264	66	8.5	85
9月	18	271	53	9	90
10月	20	275	57	8.9	89
11月	18	251	54	8.4	84
12月	13	183	24	6.1	61
1月	17	242	46	7.8	78
2月	21	220	46	7.9	79
3月	13	199	50	6.4	64
計	209	2842	597	7.8	78

月平均利用人数・・・ 17.4 人 1人平均利用日数/月・・・13.5 日 (単位:人)

### 2. 負担限度額利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1段階												
2段階	8	6	4	6	9	8	9	8	8	6	9	5
3段階①	4	4	4	3	5	3	3	3	2	3	3	2
3段階②				1	1	1	1			1	1	1
4段階	7	9	7	5	6	6	7	7	3	7	8	5

(単位:人)

### 3. 介護度状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支1												
支2												
1	3	3	2	2	2	1	2	3	1	2	3	1
2	1	2	2	2	4	2	4	2	2	2	5	4
3	11	11	8	7	8	8	8	7	5	8	8	4
4	2	2	2	3	6	5	4	3	3	3	3	2
5	2	1	1	1	1	2	2	3	2	2	2	2

(単位:人)

### 4. 令和4年度の重点目標についての具体的取組の評価

4年度は在宅生活が続けられるようにとの事で、残存機能の維持・向上に重点を置いて対応してきた。感染症の発生に伴い居室での隔離、利用制限があったが利用者の身体機能の低下にはつながらず過ごせた。ただ、感染症発生に伴う受け入れの停止を行ったこともあり、稼働率は低くなった。

## 通所介護事業実施状況報告書

### 1. 登録者の状況（令和5年3月31日現在）

通所介護					合計
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
9	16	5	1	1	39

要支援1：2名

要支援2：5名

（単位：人）

### 2. 利用状況

	営業日数	通所介護			利用者数	延べ利用者数	1日当たり利用者数
		3-5h	5-7h	7-9h			
4月	26	7	4	278	33	291	11.1
5月	26	18	3	285	32	306	11.7
6月	26	14	0	277	31	298	11.4
7月	26	14	3	273	30	290	11.1
8月	27	18	9	299	35	326	12.5
9月	26	24	12	257	31	293	11.2
10月	26	16	16	299	34	331	12.7
11月	26	17	14	301	32	332	12.7
12月	27	30	14	306	36	350	12.9
1月	24	19	16	266	34	301	12.5
2月	24	17	15	291	35	323	13.4
3月	27	16	11	352	39	379	14.0
計	311	211	117	3484		3812	12.2

### 3. 令和4年度行事実施状況

月 日	行 事 名
3月末～4月上旬	桜見物（そよ風パーク）
6月15～18日	菖蒲見物（米迫）
6月28～29日	七夕飾り作り
7月5日	七夕飾り付け
8月30～31日	室内ショッピング
9月15日	ピクニック
10月19日	運動会
10月22日	利用者100歳のお祝い
11月9日・12日・17日	紅葉見物（旧上差尾小学校・そよ風パーク）
12月19日・22日・26～27日	クリスマス会 忘年会
12月29日	年納め食事会
1月4日	新年会 カラオケ大会
2月20～23日	手工芸（ひな人形作り）

3月15日	おやつ作り
3月29～30日	桜見物（高森町方面）

#### 4. 機能訓練実施状況

個別機能訓練実施延べ数	集団体操参加人数	レクリエーション参加人数
2064回	3809回	3514回

#### 5. 会 議

デイ会議（月1回）	ケア会議
12回	（ 随時 ）

#### 6. 令和4年度の重点目標についての評価

##### ① 機能訓練について

個別機能訓練計画書をもとに、ほぼ計画通りに機能訓練を実施することができた。ほぼすべての利用者の心身機能は維持できているように思い、在宅生活の継続につながっていると思う。

##### ② 居宅サービス計画に基づくサービスの提供について

居宅介護支援事業所の居宅サービス計画書をもとに、利用者ごとに担当職員が通所介護計画書を作成し、ほぼ計画通りのサービスを提供することができた。

##### ③ 感染症予防について

自宅での検温、手洗い、うがい、手指消毒、換気など感染症の予防を徹底した。新型コロナウイルスに感染されたのは利用者2名だけであり、今後においても感染症対策を継続し安全に営業ができるよう努めて行く。

## 居宅介護支援事業所

### 1. 居宅介護支援事業内容（単位：件）

	ケアプラン件数		新規依頼者数	契約 解約者
	介護	予防		
4月	36	1	1	1
5月	38	1	1	2
6月	36	1	0	1
7月	36	1	2	0
8月	37	0.5	2	2
9月	38	0.5	0	0
10月	39	0.5	0	0
11月	36	0.5	0	1
12月	36	0.5	1	1
1月	36	0.5	1	0
2月	36	0.5	0	0
3月	35	0.5	0	1
計	439	8	8	9

### 2. 令和4年度の重点目標の取組についての評価

近年の日本では地震・津波、豪雨や大雪、竜巻などの災害が多発しており、被害も大きくなっています。また、新型コロナウイルス感染症の流行など今までには考えられない災害もあります。このような経験のない災害から身を守るためには、災害に対する心構えや知識と備えが必要とされています。

「大規模自然災害ではどのようなことが起きるのか」「その時どう対応したら良いのか」「災害に対する備えはきちんとできているか」という視点で常にアンテナを張り、災害に備えた注意喚起や災害に対する最新情報、災害時に役立つ情報を見逃さない、聞き逃さない事を心掛けました。また、利用者の避難行動を把握するために（特に独居の方）、避難はいつどこにするのかなどの聞き取りを行っています。また、災害時の避難状況の確認を行い、自力での避難が困難な方の送迎などの支援も行っています。

心構えとして、自治体や気象庁などから発表される防災情報をもとに避難行動を起こすこと、住所地から近い避難所、日中の明るい時間帯に避難行動を起こすこと、すぐに食べられる食品や水の備蓄等、数回に渡って確認しました。また避難情報や感染情報が出た時には必要な方には電話などで行動確認を行い、訪問介護や通所、訪問看護等関係事業所とも情報の共有を図り利用者の状況把握に努めました。

感染症対策については、自治体や施設などの情報をもとに感染予防の意識を高める声掛けを行いました。

## 住宅型有料老人ホーム そよ風一番館

### I. 入居者の現状報告

#### 1. 入所状況

	定員	令和5年3月31日現在	
		現在員	待機者
有料老人ホーム	9	9	0

(単位：人)

#### 2. 介護度別入所者内訳

令和5年3月31日現在

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	合計
	1	1	1	6	0	9

(単位：人)

#### 3. 入居者状況

(1) 年齢別・性別の状況 (単位：人)

	65歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳～ 89歳	90歳～ 99歳	100歳～	計	平均年齢
男	1	0	2	1		4	85.5
女	0	1	2	2		5	87.2
計	1	1	4	3		9	86.3

(単位：人)

(2) 入居・退居状況

	月	月途中入居者					月途中退居者				
		月初日 入居数	在宅	その他	入院	計	家庭復帰	入院	死亡	その他 他施設	計
令和 4 年 度	4	9			1	10				1	1
	5	9				9					0
	6	9				9				1	1
	7	9	2			10		1			1
	8	10				10				1	1
	9	9	1			9				1	1
	10	9				9					0
	11	9				9					0
	12	9			1	9		1			1
	1	9				9					0
	2	9				9				1	1
	3	8	1			9					0
	合計		4		2	9		2		5	7

(単位：人)

#### 4. 入居の状況

自宅より	病院より	他施設より
4名	2名	0名

## 5. 退居者の状況

家庭復帰	入院による退居	他の施設に転出	死亡	計
0名	2名	5名	0名	7名

## II. 入居者処遇実施状況報告

### 1. 日常生活状況（介護）（令和5年3月31日現在）

状態	食事			排泄		
	全介助	一部介助	自立	全介助	一部介助	自立
実数	0	0	9	0	3	6
比率	0%	0%	100%	0%	33%	66%

デイサービス利用者 8名（単位：人）

### 3. 令和4年度の重点目標の取組みについての評価

家族との情報共有、課題についての相談について

今年度は本人の身体状況の変化、他者との関係など含め家族や関係機関との連携は密であった。

安心して過ごしていただく施設となるため、心身の変化のみならず経済的視点からも他施設への申し込みの提案等を本人・家族へ行い長期となる家族の経済的負担についても、安心を提供できたと思う。

また、その際も家族と事業所だけで検討せず本人へ説明し本人の意思を確認しながら行うことができた。



